

1 基本情報

施設名称	大阪市立城東区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	①センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足（やや満足）と回答される方」の割合 ②センターの延べ利用人数 令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均以上 ③センターの登録人数 令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均以上
数値目標	①85.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和2年度～令和4年度)したアンケートの平均) ②18,769人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均） ③411人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均）
指定管理者名	社会福祉法人 リベルタ
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足（やや満足）と回答される方の割合	センターの延べ利用人数	センターの登録人数
数値目標	85.6%	18,769	411
年度実績	95.3%	35,006	687
達成率	111.3%	186.5%	167.2%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	35,006	30,995	4,011

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	17,656,404	17,800,000	-143,596	—
	計画	17,800,000	17,800,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	490,517	281,878	-9,483	—
	計画	500,000	500,000		
合計	実績	18,146,921	18,081,878	-153,079	—
	計画	18,300,000	18,300,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	14,119,192	14,258,248	119,192	—
	計画	14,000,000	14,000,000		
物件費	実績	4,027,729	3,900,399	-272,271	—
	計画	4,300,000	4,300,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
合計	実績	18,146,921	18,158,647	-153,079	—
	計画	18,300,000	18,300,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足（やや満足）と回答される方」の割合	111.3%	A	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を超える成果があった。
センターの延べ利用人数	186.5%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。
センターの登録人数	167.2%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・両面印刷、ミスプリント紙の再利用。 ・こまめな節電及び事務所照明のLED化。	B	光熱費の高騰の影響があったが、節電やLED化などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設と合同で消防訓練を実施することにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・今年度から新たに健康麻雀を始め、希望者が多く幅広く利用できるように、初級者と経験者のクラスに分けて実施するなど工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・施設連絡会・社会福祉協議会「ゆうゆうオレンジチーム」等で各施設等と情報交換や研修・事業に参画することにより、地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・大阪市個人情報保護条例を遵守して取り扱い情報漏洩の防止を図るなど、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、節電や利用者・職員へのごみの減量啓発など実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法

センター利用者に対してアンケート調査を実施

（2）回答者504人（未記入者含む）

（3）質問項目

ア 基本的な事項（年齢、居住区等）

イ 満足度

ウ 電子機器等で学びたい内容、やりたい活動

（4）結果

・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が95.3%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.事業報告書は、昨年度の意見があまり反映できていないため、PDCAに沿って読み手が理解しやすいように、表を作ったり、同じ番号を附番し整合性がはっきり分かるようにしたりする等、書き方を工夫していただきたい。また、事業ができなかった場合も記載し、なぜできなかったかについて分析して記載していただきたい。
2.脳トレなど色々な事業をされているので、事業報告書に記載していただきたい。
3.図書館利用者を老人福祉センターに取り込むことができるような事業を実施するなど、複合施設の特性を活かし、図書館等との連携を検討していただきたい。
4.男性利用者の拡大のために、ゲーム的要素を取り入れた取り組み（ポッチャやモルック等のニュースポーツ）の実施を検討していただきたい。また、これらの取り組みは世代間交流にもつながるため、ぜひ検討していただきたい。
5.センターだよりに記載されている、QRコードが小さく説明書きもないため、分かりやすいように改善していただきたい。また、Facebookのみではなく、LINEも活用していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、事前に設定した目標を大幅に超える成果があった。
管理経費・市費の縮減	B	光熱費の高騰の影響があったが、節電やLED化などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。